

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

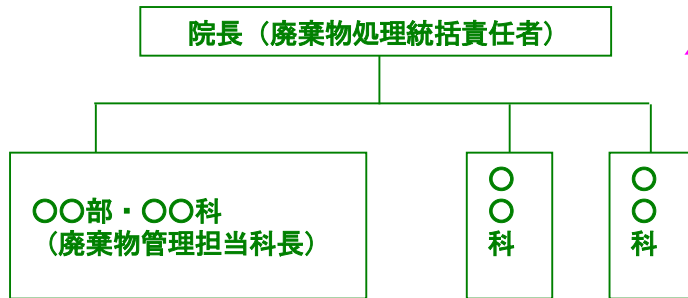
(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和〇〇年〇〇月〇〇日	
(あて先) さいたま市長	<p>ホームページへ掲載するので、押印は必要ありません。また代表者以外の担当者名等の個人名は記載しないでください。</p> <p>提出者 住所 さいたま市〇〇区〇〇△-△-△ 氏名 医療法人〇〇会 〇〇病院 理事長 埼玉花子 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>
事業場の名称	医療法人〇〇会 〇〇病院
事業場の所在地	さいたま市〇〇区〇〇△-△-△
計画期間	〇〇年 4月 1日から〇〇年 3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	医療業
② 事業の規模	〇〇〇床
③ 従業員数	〇〇〇人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	感染性産業廃棄物 → 焼却(委託) → 埋立(委託)
<p>当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は委託の内容を含む。)を記入してください。</p>	<p>日本標準産業分類表上の業種(中分類まで)を記入してください。</p> <p>製造業の場合には製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合には元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合には病床数(前年度末時点)、その他の業種の場合には売上高(前年度実績)を記入してください。</p> <p>(日本工業規格 A列4番)</p>

特別管理産業廃棄物処理に関する管理組織図、教育・研修、情報公開等について記入してください。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の種類ごとに前年度の実績値を記入してください。種類が3種類以上ある場合は「別紙のとおり」と記入し、別紙を添付してください。(以下同じ)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (〇〇年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	
	排出量	〇〇〇 t	t
	(これまでに実施した取組) 一般廃棄物と産業廃棄物、感染性廃棄物と非感染性廃棄物の分別を徹底している。		

特別管理産業廃棄物の種類ごとに、当該計画書の計画期間における目標量を記入してください。

取組内容については、現在実施している取組みの内容を具体的に記入してください。(以下、分別、自ら処理及び委託処理に関する事項についても同じ)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	
	排出量	〇〇〇 t	t
	(今後実施する予定の取組) 発生抑制に関する院内研修を定期的実施する。		
<p>計画については、当該処理計画書の計画期間で実施する予定のある場合はその取組内容について具体的に記入してください。(以下、分別、自ら処理及び委託処理に関する事項についても同じ)</p>			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の分類表を各ナースステーション等に表示し、誤りの無いよう理解を徹底している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物のゴミ箱を分かりやすく色分け・表示し、誤って廃棄しないようにする。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
② 計画	③ 【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	② 【前年度（ 年度）		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 特になし。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 特になし。			

自社で再生利用した特別管理産業廃棄物及び自社で中間処理した後に自社で再生利用した特別管理産業廃棄物について記入してください。

自社の焼却施設で熱回収を行っている場合は、熱回収に利用した廃棄物の量(焼却前の重量)を記入してください。

自社による中間処理(焼却・脱水等)によって、廃棄物の重量を減らした場合は、減量した重量を記入してください。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 〇〇年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	
	全処理委託量	〇〇〇 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	〇〇〇 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	〇〇〇 t	t
(これまでに実施した取組) 委託基準に基づき、委託可能な処理業者を選定している。 委託実務に関する院内研修を定期的実施している。			

自社の処分場への埋立処分した特別管理産業廃棄物及び自社で中間処理した後に自社の処分場への埋立処分した特別管理産業廃棄物について記入してください。

優良認定処理業者へ委託を行った場合に記入してください。

再生利用されることが確実な業者へ委託を行った場合に記入してください。

認定熱回収業者に委託を行った場合に記入してください。

認定業者以外の熱回収業者に委託を行った場合に記入してください。

②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物
	全処理委託量	〇〇〇 t t
	優良認定処理業者への 処理委託量	〇〇〇 t t
	再生利用業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	〇〇〇 t t
(今後実施する予定の取組) 委託した処分場等の現地確認を定期的を実施する。 できるだけ優良認定処理業者から選定する。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（ 〇〇年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	〇〇〇 t
(今後実施する予定の取組) 委託基準に、電子 manifests の使用の有無を追加し、電子 manifests が使用できる業者を選定する。		
PCB廃棄物を除いた、特別管理産業廃棄物の前年度の実績を記入してください。PCB廃棄物を除くと年間50 t 未満となる場合、義務対象者とはならない旨を記入してください。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。